

# YODORIC

## News. 34

淀川愛好会事務局  
〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8  
摂南大学  
工学部都市環境システム工学科 澤井教授室内  
TEL & FAX : 072-839-9124  
携帯電話 : 090-2196-9594  
E-mail : [sawai@civ.setsunan.ac.jp](mailto:sawai@civ.setsunan.ac.jp)  
HP : <http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>



↑ 摂南大学北ビオトープ

みなさん初めまして 4 回生の内田です。お元気ですか？最近暑く梅雨にも入り、じめじめした日が続いています。嫌な時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度の淀川愛好会の活動も新しい 4 回生を混ぜ新しくスタートしました、毎年恒例の夏のイベント「近畿水環境交流会」の時期が近づいてきました。今回から執筆は、摂南大学 4 回生の内田啓太が担当することになりました。まだまだ未熟者ですが、皆さんに楽しく読んでいただこうと努力しました。今後ともよろしくお願ひします。何か YODORIC News へのご意見があればお教えください。

### **春のイベント 2006in 武庫川！！大成功**

2006 年 4 月 29 日（土）、毎年恒例の春のイベントが行われました。今年は昆陽池で集合し、昆陽池の鳥を眺め、伊丹市昆虫館で昆虫を見学し、武庫川河川敷でバーベキューと E ボートを出しました。参加人数は約 50 名で、昆虫館ではさまざまな昆虫や、蝶温室でたくさんの蝶とたわむれました。

武庫川河川敷でのバーベキューもさまざまな地域からの参加もあり沢山の交流をもて盛り上がりました。E ボートも好評で、もう一回乗りたいと言う人もいました。アンケートでも多くの人に楽しかったと言って頂き大成功のイベントとなりました。



↑ 蝶が群がる頭！ワックスの臭いに寄って来たのかな？それとも私の人間性に寄ってきた？？（笑）

## **ホタル鑑賞会！キレ～！！**

6月10日（土）交野市にある南星台でホタル鑑賞会が開催されました。参加者は約40名で寝屋川市駅に集合してマイクロバス2台で南星台自治会館に向かいました。南星台自治会館では、ホタルの話を聞き、ホタルの生態系などを知ってからホタルを



見の外に出ました。ホタルの光はとても綺麗で神秘的なものを感じました。自然の美しさ、緑の大切さを実感しました。ホタルで癒された後は、淀川愛好会の今堀さんから美味しいブドウの差し入れがあり、皆で雑談をしながら楽しく頂きました。その後はマイクロバスで駅へ戻り、とても良い一日でした。

## **淀川“わんど”クリーン大作戦 にご参加を・・・！**

7月17日（月・祝 海の日）の午前10時から正午まで Love 遊淀川の恒例「淀川“わんど”クリーン大作戦」が大阪市旭区の淀川河川敷の城北わんど地区で行われます。淀川の貴重な環境の城北ワンドを掃除して専門家の先生達と一緒に生き物を観察しましょう。参加は無料です。お誘いあわせのうえ奮ってご参加ください。

## **摂南大学ビオトープ News**

ビオトープ担当の摂南大学4回生の田村誠です。摂南大学寝屋川キャンパスには現在二つのビオトープと製作中の一つのビオトープがあります。一つ目の二号館北側にある北ビオトープは水路から引いた水で上流域から下流域までの池を作り、それらを中心に植栽をし、二つ目の交流会館南側の南ビオトープは復元させた水路沿いに果樹園や芋畑が作られています。製作中の八号館北西の西ビオトープは寝屋川第四水路から直接水を取り入れる構造にする予定で、植生は関西の山の川沿いに生えている花を中心に植える予定です。

## **五十里ダムの紹介**

五十里ダムは今年で50周年を迎えました。摂南大学卒業生で淀川愛好会の国土交通省 五十里ダム管理支所の角野さんに五十里ダムについての記事を書いて頂きましたので、今回のYODORIC Newsでは、五十里ダムについての特集をしたいと思います。

私は、摂南大学工学部土木工学科を昭和60年3月に卒業し、その間様々な土木関係の仕事を行ってきましたが、特殊な土木として、現在老朽化したダム（五十里ダム）を管理する仕事に携わっていますのでご紹介させていただきます。五十里ダムは、栃木県北部の日光国立公園内の観光地で有名な鬼怒川温泉の北側15kmに位置し、鬼怒川上流の左支川男鹿川に昭和25年着工し、当時我が国最大の重力式コンクリートダムとして昭和31年8月に完成した洪水調節、灌漑用水の供給及び発電を目的とする多目的ダムで本年8月31日で50年経過したダムです。（国交省<旧建設省>で第二位の古いダムです。）

当ダムは、東京日本橋から50里（約200km）で水没した地区が五十里地区から五十里ダムと名付けられました。五十里ダムの特徴は、ダム形式が重力式ダム、堤高112m、堤長267m、有効貯水容量55千万m<sup>3</sup>（8月中旬～9月末：11.2千万m<sup>3</sup>）でダムの貯水容量が小さいため、春、夏のダム放流が頻繁に行っています。そのため、有効な水運用を実施するため、1.1km隣に位置する川治ダムとの連携させるための導水トンネル工事が今年の秋完成予定です。当ダムの歴史については、1683年の日光大地震により、イカリ湖が誕生しました。（H16年の新潟中越地震による閉塞池ができたメカニズムと同じです。）

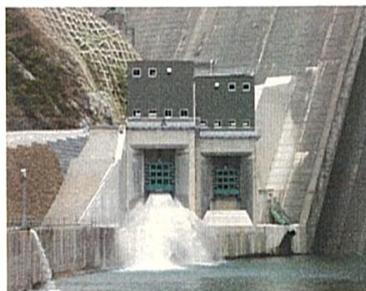


五十里ダム位置図



1683年当時のイカリ湖

また、当ダムは、設備関係が古いため、夏場の放流が限られた量でしか放流できないため新コンジットゲート改良を3年前に完了しました。その際堤体内を軟石トンネル掘削機（ロータリーヘッダ）により、堤体掘削（直径3.8mを2条）し、その際堤体の強度を確認した所建設当時より、1割程度アップしていることがわかりました。建設当時の写真、ビデオを見ますと現在と異なりほとんどが人力施工であり、現在の機械施工以上に施工方法の工夫等があり、強度がアップしたものとおもわれます。



H15.3 完了した新コンジットゲートからの放流



ダム下流側より軟石トンネル掘削機（ロータリーヘッダ）により堤体掘削



堤体掘削  
仕上がり状況

新コンジットの堤体掘削状況

最後にダム下流の男鹿川について、説明します。男鹿川は、ダムでせき止められ、下流部が川治温泉となっており、観光客も水に親んでもらうため、河道の魚道・水制工等を整備した水環境改善事業が今年の3月に完成しました。なお、鬼怒川と男鹿川の合流点からダム下流までの遊歩道 1.5 km が完成し、広く観光客に利用されています。



男鹿川・鬼怒川合流点



男鹿川河道整備状況（魚道、水生等）

また、五十里ダム周辺の三依地区は、以前から炭焼きで生計をたてており、五十里湖で採取された流木の炭焼きを実施し、維持管理費のコスト縮減として利用されています。

以上五十里ダムは、様々な事業に取り組んでいます。周りは自然豊かで山菜、キノコの宝庫であり、猛禽類（クマタカ、イヌワシ）、動物（熊・鹿・猿）、魚類（イワナ、ヤマメ、カジカ等）が生息しており、ぜひ五十里ダムまでご旅行くださいませ。ご案内させていただきます。なお、7月23日、30日に森と湖に親しむ旬間で見学会を実施予定です。（ダム見学も随時募集しています。）



H18.4 クレストゲートからの放流状況



五十里ダム見学会の様子

連絡先：栃木県日光市川治温泉川治 295-1

TEL：0288-78-0071

国土交通省 五十里ダム管理支所 角野 英雄  
(旧姓吉村)

## 『近畿水環境交流会 in 猪名川』のご案内

水辺の保全と活用を通じて、近畿地方の水環境に関心と関わりを持つ人々の幅広い交流と連携を図ろうとする「近畿水環境交流会 in 猪名川」を8月5(土)、8月6日(日)の2日間にわたって、尼崎高原ロッジおよび一庫ダムにて行います。

### 1. プログラム

#### 第1日目 平成18年8月5日(土) 尼崎高原ロッジ(猪名川町)

- 9:30～ 受け付け開始  
10:00～13:00 オプショナルツアー(日生中央駅集合)  
13:30～ 講演討論会受付(尼崎高原ロッジ)

挨拶

実行委員長 澤井 健二氏  
猪名川町長 真田 保男氏

14:00～14:40 活動紹介

15:00～16:15 講演

『猪名川流域の歴史・文化』 園田学園女子大学国際文化学部教授 田辺 真人氏

16:15～17:00 討論会 : コーディネーター 片寄 俊秀氏

17:30～19:00 懇親会

19:30～21:00 フリータイム

#### 第2日目 平成18年8月6日(日) 一庫ダム(知明湖)

- 9:00～ 9:30 湖岸清掃 (一庫ダム 出合のビーチ集合)  
9:30～10:00 開会式  
10:00～12:00 Eボートによる水面利用  
12:00～13:00 昼食  
13:00～15:00 Eボートタイムレース  
15:00～ 閉会式  
15:30～16:00 ダム見学

※悪天候の場合は、午前中一庫ダム管理所別館会議室にて水質調査やボート組み立てレースを行います。午後も天候が回復しない場合は、Eボートタイムレースは中止します。

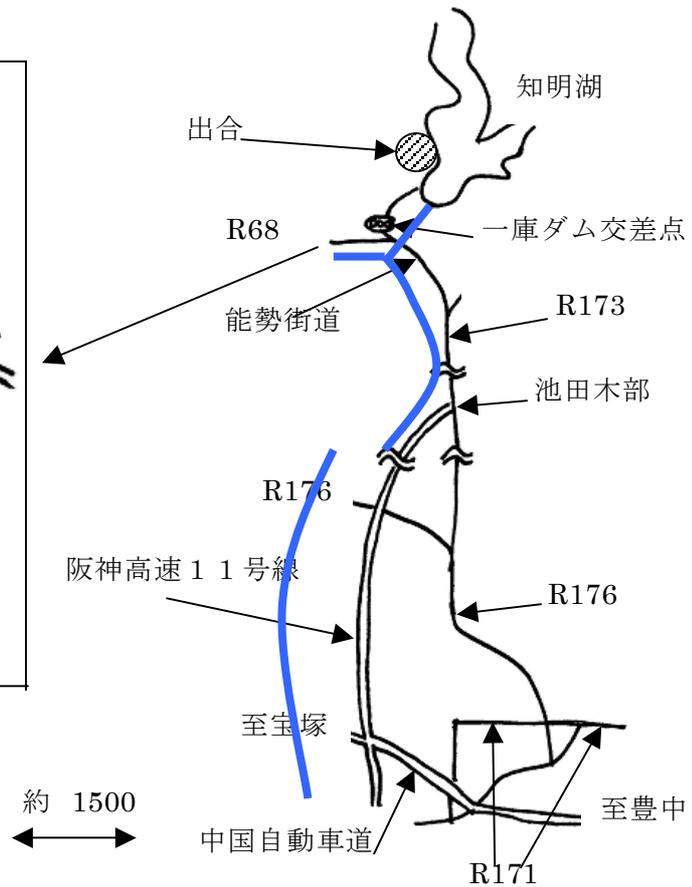
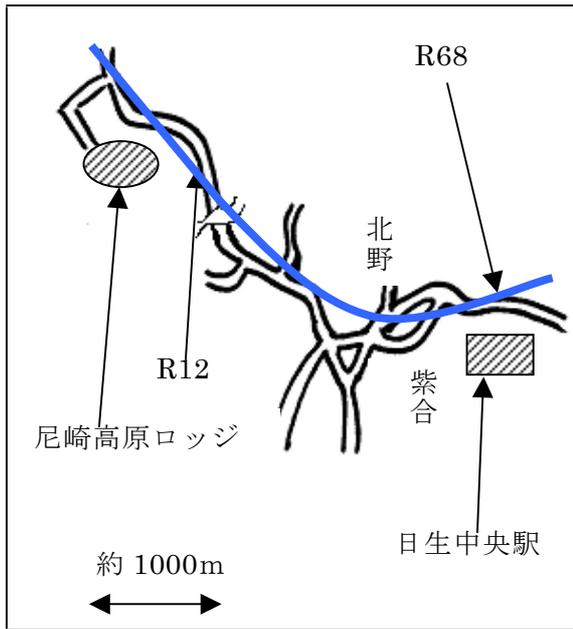
### 2. 参加費 1000円

- 1日目懇親会参加費 3000円                      ● 2日目 弁当代(希望者のみ)1000円

※参加費は当日受付にて徴収させていただきます。

### 3. 参加申し込み締め切り

平成18年7月13日(木)



電車：梅田 → 川西能勢口 → 日生中央 → 林田口  
 阪急宝塚線                      能勢電鉄                      阪急バス                      下車徒歩 5 分

車：阪神高速 11 号線，池田木部で降り R173 を通り，能勢街道を経て R68 へ  
 R68 から R12 を北上し進んでいると左側に尼崎高原ロッジが見えてきます。

参加申し込み： ～7 月 13 日まで

申し込み先：

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学工学部都市環境システム工学科内  
 「近畿水環境交流会 in 猪名川実行委員会」澤井 健二

Tel:090-2196-9594 Fax:072-839-9124 E-mail:sawai@civ.setsunan.ac.jp

